

石川 利夫 略歴・主要著作目録

略 歴

- 大正一二年 二月一九日 福島県棚倉町で出生（東京市芝区に出生届）
- 昭和一六年 四月 早稲田大学専門学校法科（旧制）入学
- 昭和一八年 九月 同校卒業（小野梓賞受賞）
- 昭和一八年一〇月 早稲田大学法学部（旧制）入学（在学中入隊、一年九カ月間軍務に服する）
- 昭和二二年 九月 同校卒業
- 昭和二二年一〇月 早稲田大学大学院（旧制）法学研究科入学（民事法専攻、昭和二四年三月まで在籍）
- 昭和二三年一〇月 横浜市立経済専門学校（旧制）非常勤講師、昭和二七年三月まで（民法担当）
- 昭和二四年 四月 横浜市立大学助手
- 昭和二四年 四月 フェリス女学院専門部（旧制―後に短期大学）非常勤講師、昭和六〇年三月まで（法学、憲法、家族関係学担当）
- 昭和二七年 四月 横浜市立大学助教（民法担当）
- 昭和二九年 四月 関東学院大学非常勤講師、昭和三九年三月まで（法学、民法担当）

- 昭和三七年 四月  
 昭和三八年 四月  
 昭和三八年一〇月  
 昭和三九年 九月  
 昭和四〇年 四月  
 昭和四一年 三月  
 昭和四一年 四月  
 昭和四三年 四月  
 昭和四三年一〇月  
 昭和四四年 四月  
 昭和四六年 六月  
 昭和四六年 九月  
 昭和四八年 二月  
 昭和四九年 五月  
 昭和五一年 四月  
 昭和五一年 六月  
 昭和五二年一〇月
- 日本大学法学部非常勤講師、昭和四一年三月まで（民法、債権法各論、身分法特講II担当）  
 早稲田大学法学部非常勤講師、平成五年三月まで（民法身分法演習、相続法担当）  
 税務大学校東京研修所講師（集中講義）、平成五年二月まで  
 横浜市立大学教授（民法担当）  
 フェリス女学院大学非常勤講師、昭和四三年三月まで（法学、憲法担当）  
 横浜市立大学教授退官  
 日本大学教授、同年一〇月より法学部勤務  
 中央大学法学部非常勤講師、昭和四六年三月まで（民法、身分法担当）  
 東京地方裁判所調停委員、昭和五三年三月まで（二二部民事調停）  
 早稲田大学大学院法学研究科講師、平成五年三月まで（民法特殊講義(5)担当）  
 日本大学大学院法学研究科分科委員会委員  
 日本大学法学研究所次長、昭和四九年四月まで  
 日本大学海外派遣研究員としてアメリカ、イギリスへ出張、同年八月帰国  
 日本大学学務委員会委員、法学部学務担当（学務委員会委員長）、昭和五一年五月まで  
 明治大学法学部非常勤講師、昭和六二年三月まで（民法演習、親族法担当）  
 日本大学法学部大学院担当、昭和五二年四月まで  
 日本大学法学部図書館長、昭和五三年三月まで

- 昭和五三年 四月 日本大学法学部大学院担当、昭和五五年三月まで
- 昭和五四年 五月 東京第一弁護士会綱紀委員会参与、平成七年五月まで
- 昭和五五年 八月 日中学術懇談会より中華人民共和国（北京社会科学学院、吉林大学）へ出張（一ヶ月間）
- 昭和五六年 四月 慶応義塾大学法学部非常勤講師、平成三年三月まで（民法Ⅴ、家族法担当）
- 昭和五六年 四月 神奈川大学法学部非常勤講師、昭和六一年三月まで（債権法各論担当）
- 昭和五七年 五月 税務大学校関東信越研究所講師（集中講義―法学、民法Ⅱ担当）、平成七年三月まで
- 昭和五八年一〇月 日本私法学会理事、昭和六一年一〇月まで
- 昭和五九年 四月 日本大学法学部研究担当（大学院）、研究委員会委員長、平成二年三月まで
- 昭和五九年 六月 比較家族史学会幹事、平成七年五月まで
- 昭和六一年一〇月 韓国中央大学校総長招聘により韓国へ出張、同年十一月五日帰国
- 平成 元年 五月 日本公証法学会理事、平成七年五月まで
- 平成 四年 三月 日本大学法学部海外研修短期Bにより英国（カーディフ大学）へ出張（一ヶ月間）
- 平成 四年 四月 白鷗大学法学部非常勤講師（民法Ⅰ担当）、平成五年三月まで
- 平成 五年 二月 日本大学法学部退職
- 平成 五年 四月 白鷗大学法学部教授
- 平成 六年一月 日本大学名誉教授
- 平成 七年 五月 逝去、正五位勲三等瑞宝賞の叙位叙勲

著 書

- 『日本民法（財産法編）』（共著）正統社 昭和二六年
- 『物権法（詳解法学便覧） 8』評論社 昭和三〇年
- 『担保物権法（詳解法学便覧） 9』評論社 昭和三一年
- 『民法 I（総則・物権）』（共著）評論社 昭和三三年
- 『民法 II（債権）』（共著）評論社 昭和三三年
- 『債権法各論（詳解法学便覧 11』評論社 昭和三五年
- 『親族法（詳解法学便覧 12』評論社 昭和三七年
- 『相統法（詳解法学便覧 13』評論社 昭和三八年
- 『口語民法〔債権〕』（高梨公之・口語六法全書 2）自由国民社 昭和四一年
- 『家族法講義（上） 親族法』評論社 昭和四二年
- 『口語判例民法〔親族〕』自由国民社 昭和四三年
- 『法学概論』（共著）有信堂高文社 昭和四三年
- 『土地と建物（借家）』（中川・遠藤編・実用法律事典 4）第一法規出版 昭和四四年
- 『法学用語辞典』（編集―民法担当）評論者 昭和四五年
- 『民法 4 債権の消滅』（有斐閣双書）（共著）有斐閣 昭和四五年

- 『民法 7 不当利得』(有斐閣双書) (共著) 有斐閣 昭和四五年
- 『民法(債権)講義(契約)』青林書院 昭和四六年
- 『民法 9 相続の承認放棄』(有斐閣双書) (共著) 有斐閣 昭和四六年
- 『家族法講義(下) 相続法』評論社 昭和四七年
- 『親族・相続法』(日本大学通教テキスト) 日本大学通信教育部 昭和五〇年
- 『民法 V(家族法)』評論社 昭和五〇年
- 『民法総則(詳解法学便覧 7)』(新版) 評論社 昭和五三年
- 『担保物権法講義』(共著) 勁草書房 昭和五五年
- 『債権法―講義概説(1)』(共著) 評論社 昭和五五年
- 『民法の知識―民法のアウトラインと基本ルールの理解のために』評論社 昭和五六年
- 『判例不動産売買法(契約の解消)』(森泉・半田編) 大成出版社 昭和五八年
- 『債権法講義』(共著) 評論社 昭和五八年
- 『演習ノート・債権総論各論』(編著) 法学書院 昭和五八年
- 『大学と民法とゼミの周辺―あるセミナーライフ・随想』評論社 昭和五九年
- 『記述式・民法の模範解答例』(編著) 実務教育出版 昭和六〇年
- 『民法副読本(親族・相続)』(共著) 文真堂 昭和六二年
- 『生者と死者―祖先祭祀(比較家族史シリーズ(1))』(編著) 三省堂 昭和六三年

『相続法』(共著) 評論社

昭和六三年

『民法論点セミナー』(編著) 辛夷社

平成三年

『明解民法 II』(債権・親族・相続) (編著) (改訂新版) 東京法経学院出版

平成三年

『昭和の風景』蒲田・羽田界限と京浜電車 国際書院

平成五年

『昭和の風景II』(仮題) 白河・柵倉界限と白柵鉄道 北樹出版

平成九年

論 文

「H. J. Berman『ソヴィエト法の挑戦』—アメリカにおけるソヴィエト法批判論」

『横浜市大論叢』二卷四号

昭和二五年

「家屋明渡請求権に関する一考察」『横浜市大論叢』三卷三号

昭和二六年

「市民法の転回と民法新第一条」『横浜市大論叢』四卷三・四号

昭和二七年

「法人設立の立法主義に関する一考察」『横浜市大論叢』六卷一号

昭和二九年

「貸借権の譲渡性に関する法解釈」『横浜市大論叢』九卷一号

昭和三三年

「建物買取請求権の効用—借地法—」『横浜市大論叢』一〇卷一号

昭和三三年

「兄弟姉妹の直系卑属の代襲相続権について(一)」『横浜市大論叢』一一卷一号

昭和三五年

「代諾離縁—昭和三七年改正法に即して」『日本法学』二八卷五号

昭和三七年

- 「不動産貸借権の存続期間」『契約法大系Ⅲ』有斐閣
- 「利息の天引」『綜合法学』六卷六号
- 「任意に支払った制限超過利息の残存元本への充当をめぐる判例の展開」  
『判例時報』三九五号、『判例評論』七六号
- 「制限超過利息の元本充当問題と利息天引の法理」『横浜市大論叢』一六卷三・四合併号
- 「組合の本質と財産関係」『民法の基本問題一五〇講Ⅱ債権』一粒社
- 「利息制限法をめぐる」『法律時報』三九卷七号
- 「表見代理の法理」『不動産法大系（Ⅰ）売買』青林書院
- 「譲渡担保の対内的効力と対外的効力」『不動産法体系（Ⅱ）担保』青林書院
- 「墓地の法律問題（1）」『時の法令』七三六号
- 「墓地の法律問題（2）」『時の法令』七三八号
- 「利息制限法の機能的法理と制限超過利息の帰趨」『日大法学部八〇周年記念論文集』
- 「利息制限法違反行為の効力」『ジュリスト』五〇〇号
- 「差押と相殺の関係」『判例演習講座民法Ⅰ』世界思想社
- 「虚偽の嫡出子出生届の効力」『法学セミナー』二二六号
- 「仮想離婚の効力」『法学セミナー』二二九号
- 「利息制限法制限超過利息の性格」『民法学4』有斐閣
- 昭和三七年  
昭和三八年  
昭和四〇年  
昭和四〇年  
昭和四〇年  
昭和四一年  
昭和四一年  
昭和四二年  
昭和四二年  
昭和四五年  
昭和四六年  
昭和四六年  
昭和四五年  
昭和四五年  
昭和四六年  
昭和四六年  
昭和四五年  
昭和四五年  
昭和四七年  
昭和四八年  
昭和四八年  
昭和四九年  
昭和四九年  
昭和五〇年  
昭和五〇年  
昭和五一年

「生存配偶者の法的地位―婚姻の死亡解消法序考」

『婚姻法の研究(下) 高梨公之教授還暦記念論文集』有斐閣

昭和五十一年

「同時履行の抗弁権」『判例と学説(3)』日本評論社

昭和五二年

「利息制限法違反の効力」『民法の争点』有斐閣

昭和五三年

「祭祀財産の承継と相続」『現代家族法大系4 中川善之助先生追悼論文集』

昭和五五年

「相続に関する民法の一部改正について―配偶者相続分の増加と寄与分の新設」

『税経通信』三五卷五号(通巻四七二号)

昭和五五年

「相殺の担保機能―差押・転付債権に対する相殺の優先関係」『東京弁護士会研修講座速記録』

昭和五五年

「遺産分割と祭祀財産」『別冊判例タイムズ家裁三〇周年記念(家族法の理論と実務)』

昭和五六年

「日本の戸籍への一視点」『小林孝輔教授還暦記念論集』学陽書房

昭和五八年

「利息制限法違反の効力」『ジュリスト増刊』(法律学の争点シリーズ3―II)」

昭和六〇年

「離婚制度の法律上の課題」『法律のひろば』三八卷二号

昭和六〇年

「借家権の対抗力」『現代借地借家法講座(2) 借家法』日本評論社

昭和六一年

「身分登録制度としての戸籍―戸籍制度の比較法制的考察」『自由と正義』三七卷五号

昭和六一年

「姻族関係考―家族関係近代化の視点から」『比較家族史研究』創刊号(比較家族史学会)

昭和六一年

「家族構造の变革と民法上の祭祀条項―墓地など祭祀財産の承継問題」

『生者と死者―祖先祭祀』三省堂

昭和六三年

「相続承認放棄の熟慮期間起算点について」

『現代判例民法学の課題―森泉章教授還暦記念論集』法学書院

昭和六三年

「民法上の祭祀財産承継条項批判」『法と現代司法―染野義信博士古希記念論文集』勁草書房

平成 元年

「祭祀条項と遺骸・葬式の法律論考―遺骸・遺骨の権利と葬式費用の法律問題」

『日本大学法学部創立百周年記念論文集第一巻』日本大学法学研究所

平成 二年

「税理士顧問契約の法的性格」『月間税理』三三巻八号

平成 二年

「事実上の養親子の法律関係」『判例タイムズ』七四七号（家庭裁判所制度四〇周年記念）

平成 三年

「祭祀財産承継と相続―祭祀（財産）承継法理の独自性批判」

『講座現代家族法第五巻（遺産分割）』日本評論社

平成 四年

### 判例研究

「無断譲渡を理由とする借地契約解除後の地上物取得者と建物買取請求権」『日本法学』三〇巻四号

昭和四〇年

「債務の本旨に従わない提供」『別冊ジュリスト不動産売買判例百選』

昭和四一年

「農地売買の解除と知事の許可」『別冊ジュリスト不動産取引判例百選』

昭和四一年

「借地権者と同居の長男名義でなした借地上建物登記の対抗力」『日本法学』三二巻三号

昭和四二年

「卸小売商の逸失利益」『別冊ジュリスト交通事故判例百選』

昭和四三年

「農地法八〇条と不作為の違法確認の訴」『判例時報』五一三三号

昭和四三年

「建物賃貸借につき増改築禁止特約違反などで解除を認めなかった事例」『判例時報』五三二一号

昭和四三年

「任意に支払われた制限超過利息損害金の元本充当と返還請求権」『ジュリスト』四三三三号

(昭和四三年度重要判例解説)

昭和四四年

「農地の売買契約締結後にその土地が農地でなくなった場合の売買契約の効力」

『判例時報』五九六号

昭和四五年

「利息制限法違反の利息支払と不当利得返還請求の許否」『民商法雑誌』六三卷三号

昭和四五年

「預金債権の差押えと貸付債権による相殺との関係」

『ジュリスト』四八二二号 (昭和四五年度重要判例解説)

昭和四六年

「死因贈与と取消(撤回)」『別冊ジュリスト家族法判例百選(増補・新版)』

昭和五〇年

「差押と相殺」『別冊ジュリスト民法判例百選II(債権)』

昭和五〇年

「逸失利益算定に当たって税金および社会保険料を得べかりし総収入から控除することの是非」

『判例時報』八五六号、『判例評論』二二三号

昭和五二年

「婚約・内縁」(判例解説)『判例コンメンタール民法III』三省堂

昭和五二年

「後見」(判例解説)『判例コンメンタール民法IV』三省堂

昭和五二年

「配偶者に対する推定相続人廃除請求」『別冊ジュリスト家族法判例百選(第三版)』

昭和五五年

「死因贈与に遺贈の取消（撤回）に関する規定の準用が認められないとされた事例」

『判例時報』一〇五二号、『判例評論』二八五号

昭和五七年

「相続承認・放棄の熟慮期間起算点に関する最高裁の新判断」『法律のひろば』三七卷八号

昭和五九年

「虚偽の嫡出子出生届と養子縁組の成否」『別冊ジュリスト家族法判例百選（第四版）』

昭和六三年

「宗教法人法二三条違反による境外地処分効力」『別冊ジュリスト宗教判例百選（第二版）』

平成三年

「賃金業法四三条にいう任意支払の意義」『ジュリスト』九八〇号（平成二年度重要判例解説）

平成三年

「債権の目的（三九九条〜四一一條）」『新判例コンメンタール民法V』三省堂

平成四年

### 論説・解説その他

『新しい憲法』（共著）評論社

昭和二五年

『新しい民法』（共著）評論社

昭和二六年

『借地・借家法（法学便覧）』評論社

昭和二八年

『民法読書指導』図書新聞九八〜一〇七号

昭和三四年

「いかなる物権変動に登記を要するか」『綜合法学』五卷三号

昭和三七年

「民法の一部を改正する法律（昭和三七年）について」『横浜市大論叢』一三卷四号

昭和三七年

「債権者代位権について」『綜合法学』五卷五号

昭和三七年

- 「家族関係の法」『現代の法』早稲田大学出版局 昭和三八年
- 「鶴見列車事故が残した法律問題」『ばれるが』一五五〜一五七号、評論社 昭和三八年
- 「婚約の法律問題」『ばれるが』一六五〜一六七号、評論社 昭和三九年
- 「恋愛から結婚までの法律」『家庭百科大辞典』暁教育図書 昭和四〇年
- 「土地建物の権利の登記」『家庭百科大辞典』暁教育図書 昭和四〇年
- 「民法の体系的理解」(共著)『不動産鑑定士便覧』中央経済社 昭和四三年
- 「不動産売買と借地・借家」『暮しの図鑑4(生活)』主婦と生活社 昭和四四年
- 「売買代金の支払方法(1)・(2)」『不動産売買の法律相談』(法律相談シリーズ7)有斐閣 昭和四四年
- 「分譲地の売買建売住宅の売買」『不動産売買の法律相談』(法律相談シリーズ7)有斐閣 昭和四四年
- 「H. G. Fikar『ドイツ家族法』(共同執筆)『日本法学』三五卷二号 昭和四五年
- 「建物建築請負の法律問題―建設中に不可抗力で滅失した場合・完成後引渡前に不可抗力で建物が滅失した場合・注文者の過失で滅失した場合・損失補償の手段」
- 『建築の法律相談』(法律相談シリーズ11)有斐閣 昭和四六年
- 「意思表示理論における意思主義と表示主義」『法学演習講座(2)民法総則・物権法』法学書院 昭和四六年
- 「表見代理と無権代理の関係」『民法演習講座(2)民法総則・物権法』法学書院 昭和四六年
- 「復代理」『民法演習講座(2)民法総則・物権法』法学書院 昭和四六年
- 「法律行為の不成立と無効」『法学演習講座(2)民法総則・物権法』法学書院 昭和四六年

- 「錯誤と詐欺」 『演習法律学体系4 演習民法（総則・物件）』 青林書院 昭和四六年
- 「利息制限法」 『演習法律学体系5 演習民法（債権）』 青林書院 昭和四七年
- 「後見人の業務」 『基本法コンメンタール民法Ⅲ』 日本評論社 昭和四七年
- 「未婚の母と戸籍」 『ジュリスト』 五〇二号 昭和四七年
- 「取引の安全」 『民法を学ぶ』 有斐閣 昭和四七年
- 「戸籍の筆頭者」 『時の法令』 七九四号 昭和四七年
- 「婚約の法的理解(1)」 『時の法令』 八四〇号 昭和四八年
- 「婚約の法的理解(2)」 『時の法令』 八四二号 昭和四八年
- 「地上権・使用借権その他の宅地利用権」 『不動産法』（民法新教科書3） 有斐閣 昭和四八年
- 「一九七四年学会回顧（民法）」 『法律時報』 一二号 昭和四九年
- 「同時履行の抗弁権の成否」 『セミナー法学全集民法Ⅳ 債権各論』 日本評論社 昭和四九年
- 「日本の戸籍を考える」 『戸籍』 三五二号 昭和五〇年
- 「姻族関係への疑問」 『ジュリスト』 五九九号 昭和五〇年
- 「種類債権と選択債権の相違」 「種類債権の特定時期」 「重利の予約の有効性」 昭和五〇年
- 「制限超過利息の元本充当」 「制限超過利息の約定と遅延損害金」 『民法三〇〇題』 昭和五〇年
- （民法演習ノート） 有斐閣 昭和五〇年
- 「賃借権の相続」 『セミナー法学全集民法Ⅴ』 日本評論社 昭和五〇年

- 「実子特例法について」(座談会) 『戸籍』三六七・三六八号(『法と正義』〔法曹会〕所収) 昭和五一年
- 「双務契約の特質」 『民法副読本』文真堂 昭和五二年
- 「相続放棄の取消、無効確認」 「遺産分割・相続放棄と利益相反行為」 「相続放棄と対抗要件」 昭和五二年
- 『相続法の基礎』(基礎法学大系22) 青林書院新社 昭和五二年
- 「日本における家族構造の变革とその問題点」講演：中国社会科学院(北京)、吉林大学(長春) 昭和五五年
- 「民法の基礎知識Ⅰ～Ⅷ補遺Ⅰ～Ⅳ」 昭和五三～五六年
- 『月刊税理』二二卷一号～二四卷六号(四二回連載) 昭和五三～五六年
- 「相続の放棄」 『別冊法学セミナー司法試験シリーズ2民法』 昭和五五年
- 「特別寄与分と遺産分割の基準」 『妻が半分相続する改正と全対策集』自由国民社 昭和五五年
- 「家族の法律問題を考える―夫婦の絆と親子の絆」 『日本司法書士会連合会講演速記録』 昭和五五年
- 「旧法時に家督相続人から廃除(廃嫡)されても、現行法上は推定相続人として平等に子として相続人たる資格を得る―遺産相続に関する特殊問題」 『旬刊国税解説』二〇巻 昭和五五年
- 「中国雑感」 『ジュリスト』七四〇号 昭和五六年
- 「寄与分をめぐる法律問題と相続」 『財産相続の法律知識(五七年度版)』自由国民社 昭和五六年
- 「民法と算数」 『受験新報』(巻頭言) 八月号 昭和五六年
- 「担保的相続」 『受験ジャーナル』一二月号 昭和五六年
- 「相続における特別受益と寄与分」 『受験ジャーナル』2月号 昭和五七年

- 「不法原因給付の法理と適用上の問題」『受験ジャーナル』四月号 昭和五七年
- 「債権債務とはどういうものか」『債権回収の法律知識（五七年版）』自由国民社 昭和五七年
- 「不動産賃借権の対抗力」『受験ジャーナル』四月号 昭和五七年
- 「不動産賃借権の譲渡性と相続性」『受験ジャーナル』五月号 昭和五七年
- 「借地借家の継続性の問題」『受験ジャーナル』八月号 昭和五七年
- 「民法五三三条の適用上の問題と不安の抗弁権」『受験ジャーナル』一二月号 昭和五七年
- 「配偶者に対する相続人廃除の問題」『受験ジャーナル』八月号 昭和五八年
- 「民法上の基本的家族構造と祭祀条項」研究発表：比較家族史学会第五回研究大会 昭和五九年
- 「戦争と高度経済成長と借地借家―金銭づくの借地借家への変質」『金融法務事情』一一一四号 昭和六一年
- 「金城清子『家族という関係』―読後感と検証・フランスの家族状況をふまえて」(一) (二) 昭和六一年
- 書評：『時の法令』一二八〇・一二八四号 昭和六一年
- 日本の家族法事情―戦後日本の家族法の改革と展開―韓国中央大学校法科大学記念講演  
 (中央大学校法科大学紀要二輯所収)
- 「家庭内離婚を考える」『法学教室』八〇号 昭和六二年
- 「民法上の問題状況の変化とリアクション」『速報税理』(巻頭言) 六卷三号 昭和六二年
- 「日本の養子事情」『速報税理』七卷三号 昭和六三年
- 「ファンゴールの真只中の青春―朱夏を読んで若い世代へ」『法学セミナー』四〇四号 昭和六三年

「後見人の事務・後見の終了（民法八五三条―八七六条）」

『基本法コンメンタール民法Ⅲ』（改訂三版）日本評論社

昭和六三年

「公序良俗違反行為―民法第九〇条」 『基本法コンメンタール民法Ⅰ』（改訂三版）日本評論社

昭和六三年

「保証人の抗弁権（民法四五九条～四六五条）」 『基本法コンメンタール民法Ⅱ』日本評論社

昭和六三年

『カセットテープ民法7・相続法』（改訂新版）暁出版

昭和六三年

「祭祀財産」「葬式費用」「遺骸・遺骨」 『判例タイムズ』六八八号

（家庭裁判所制度四〇周年記念号）

平成 元年

「法条への思索―民法の条文に思想と法政策を読む」 『不動産法律セミナー』二〇巻一〇号

平成 元年

「相続開始前の放棄（法律相談コーナー）」 『日大広報』

平成 二年

「貸金業法四三条を考える―その背景と法政策」 『月刊リーガル』一四巻六号

平成 三年

「ある変貌―蒲田・羽田界限と京浜電車」 『けいきゅう』平成四年八月号～一二月号

平成 四年

「祭祀財産」「祭祀主宰者」「祭具」「死体」 『事典・家族』弘文堂

平成 七年

卒業指導論文一覧（白鷗大学法学部石川利夫ゼミ一期生◎平成八年三月卒業）

人工授精における父子関係確定法理	青木 弓子
夫婦別姓制度に関する一考察	五十嵐 英俊
新しい韓国家族法	石田 千春
年金からの扶養	大島 一朗
医療過誤	岡本 里恵
家族法の改正	桜井 玲奈
痴呆性高齢者の離婚問題	佐々木 朋子
寄与分制度	野村 美保
「扶養」に関する若干の考察	服部 恵子
借家権の相続	福田 修
民法八八四条の行方	藤田 淳
成年後見制度	伏見 和晃
製造物責任法（PL法）の考察	星 裕之
相続における特別受益者と寄与分	弓野 暁子
定期所有権	渡辺 美保